

番号	2-1-2		表題	目黒川における合流式下水道の改善の取組		
内 容	<p>東京都目黒区、品川区を流れる目黒川は、上流が旧河川に蓋かけをした合流式下水道の幹線であり、雨天時には雨水で希釈された汚水の一部が吐口から放流されるため水質改善が課題となっている。</p> <p>合流式下水道の改善として、これまで雨水貯留機能を兼ねた遮集幹線を整備したが、河川整備が進んでいないため浸水対策の貯留管として暫定利用してきた。</p> <p>今回、河川管理者と連携し、河川整備の進捗に合わせ目黒川への放流量を拡大する方針となったことから、浸水対策効果を損なうことなく、遮集幹線を本来目的である合流改善として利用することを検討した。</p> <p>流出解析モデルを用いて河川の安全性の検証を行い、合流式下水道の改善と浸水対策が両立できる対策であることを証明できた。</p>					
キーワード	目黒川 合流改善 浸水対策 流出解析モデル					
処理区名	森ヶ崎	位置区分	管きよ			
職種区分	土木	施策区分	合流改善 浸水対策			
状態区分	調査 研究 計画		新規性			
実施年度	平成 26 年度～平成 27 年度		全体期間	平成 26 年度～平成 27 年度		
担当部署	計画調整部 事業調整課 施設計画係 中道 元紀					
発 表	局内					
履 歴	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会				
調査方法	委託調査					
関連情報						